

Indonesia Weekly

2021年12月13日



(対象期間：2021/12/6～2021/12/10)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2021年12月10日)



【株式市場】

週初は外国人投資家からの資金流入が不安定な中、国内投資家からの需要は堅調でした。米国金利の低下を受けてデジタルバンク銘柄は好調となった一方、オミクロン株への懸念から小売関連銘柄は軟調となりました。7日は政府が感染者数の減少とワクチン接種率の上昇を背景に年末の行動規制の緩和を発表したことから上昇しました。8日は金融庁（OJK）による株式上場規制の緩和を受けてハイテク銘柄が上昇しました。週末にかけては季節要因から石炭関連銘柄などに国内投資家の買いが集まりました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

2021/12/3	2021/12/10	変化率
6,538.51	6,652.92	+1.75%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年12月10日)



【債券市場】

週初は米国債利回りの上昇や外国人投資家の資金流出などを背景に利回りはやや上昇（価格は下落）しました。7日はオミクロン株への懸念が後退したことから、株式、通貨ルピアが上昇し、インドネシア債券の利回りもやや低下しました。同日発表された11月の外貨準備高は1,459億米ドルと前月の1,455億米ドルから増加しました。8日も引き続き利回りは低下しましたが、その後週末にかけては外国人投資家の資金流出や米国債利回りの上昇などを受けて利回りは上昇しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2021/12/3	2021/12/10	変化幅
6.256	6.314	+0.058

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年12月10日)



【為替市場】

債券市場から継続的に外国人投資家の資金流出が見られたことから、ルピアは週初に弱含みとなったものの、その後は買い戻されました。週末にかけては、今週開催の米連邦公開市場委員会（FOMC）を前にして様子見姿勢が強まり、狭い値幅での推移となりました。8日に発表された11月の消費者信頼感指数は118.5と3か月連続の上昇となり、2020年1月以来の高水準となりました。経済活動の再開などを受け、景況感が引き続き改善されていることが示されました。ルピアは対米ドル、対円ともに前週末比上昇しました。

2021/12/3	2021/12/10	変化率
0.7856	0.7914	+0.74%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ